

学校番号	22	学校名	吉田特別支援学校駿遠分教室	校長名	赤澤 智子
------	----	-----	---------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	児童・生徒が安全で安心して生活し、活動できる環境の整備 【教育環境の整備】 【人権感覚の醸成】	<ul style="list-style-type: none"> ・重大事故発生0件 ・月1回の安全点検と環境整備、防止策の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・重大事故なし ・安全点検の実施100% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応訓練、新型コロナ対策、ヒヤリハットの情報共有等、安全で衛生的な環境整備に努めた。 □日常的な整理整頓や点検による事故の防止
		<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態に関する毎朝の引継ぎ実施と対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、引継ぎ（電話）と健康ファイルで健康状態を確認し対応できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・通院後の指示事項や服薬についても学園担当者を確認したり、学校で気になる様子があれば、確実に伝え、情報の共有が図れた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修：年2回 ・人権チェック：年3回と、改善策の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修・人権チェックとも計画通り実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研修では、多くの意見が出て、意識を高めることができた。 ・人権チェックは、自身の行為を省みて、意識を持続するのに役立った。
		<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等に関するアンケートの実施と結果への対応 年2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りアンケートを実施し、対応した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート以外でも子どもから訴えがあった時には速やかに対応した。 ・人権と生徒同士の関係を考慮した環境設定を心掛けた。
安全	危機管理体制の強化と情報共有 【危機管理体制の整備改善】	<ul style="list-style-type: none"> ・学園との共同訓練を含む防災防犯訓練及び職員研修の実施 年7回 ・地域防災会議の実施と定期的な情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練5回、防災研修2回、防犯研修1回実施。 ・地域防災会議は1回行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・通学生への対応を含めマニュアルの修正を行ってきた。 □地域防災会議は、定期的な情報交換まで至らなかった。 □修正したマニュアルの確認と共通理解
		<ul style="list-style-type: none"> ・各学期に情報セキュリティに関する研修を実施 ・個人情報紛失0件、交通加害事故0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を計画に基づいて実施。 個人情報紛失0件、交通加害事故0件、交通事故0件 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル・不祥事への意識を高く持ち続けられるよう定期的な呼びかけを継続する。
	教職員が働きやすい職場になるための明るい職場づくりと業務改善 【業務改善と明るい職場づくり】	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な業務改善に関する状況確認と改善策の実施 ・週1回の定時退勤日の実施100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを基に状況の周知、改善策の提案をした。 ・週1回の定時退勤はほぼ100%達成。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が効率的にできるよう考えた。事務処理の時間が平均して取れるよう調整した。 □仕事への負担感の軽減 □分掌、委員会、部会が担う役割と活動内容の整理

様式第3号

イ 授業	<p>集団と個々の的確な実態把握に基づく授業づくりの推進</p> <p>【主体的・対話的で深い学びの実現】</p> <p>【教職員の専門性向上】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全児童生徒に対する学園との指導連絡会の設定 学部での「個別の指導計画」の評価と改善の検討 学期1回 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 指導連絡会での情報交換が実態把握に役立った。 個別の指導計画は定期的に検討・見直しができた。 個々の実態や目標に応じた授業計画を立て、授業を行うことができた。
		<ul style="list-style-type: none"> 愛着障害と児童生徒理解に関する校内研修会 年2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 2回の研修は、専門的な内容を学ぶことができ、指導に役立った。 <p><input type="checkbox"/>研修を行う時期の検討</p>
	<p>新学習指導要領に対応した授業づくりの推進</p> <p>【主体的・対話的で深い学びの実現】</p> <p>【各教科の見方・考え方を踏まえる】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 視点と改善点を明確にした授業研究の実施 各学部2回 「研修テーマに基づく研修で効果的な方法が見つかった」と答える教員100% 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り、授業研究を実施。 研修テーマに基づいた研修が実施できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 評価の3観点、授業設計の4項目、支援を考える際の視点から授業研究を行えた。 「主体的」については有効な手立てを見つげられた教員が多かった。 <p><input type="checkbox"/>「深い学び」の姿を引き出す支援の追究</p>
ウ 連携	<p>児童生徒を支えるための併設施設・関係機関との連携</p> <p>【併設施設・関係機関との連携】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「記録を回覧し、特に必要な情報は口頭伝達等で情報共有を行うことができた。」と答える教員100% 	<ul style="list-style-type: none"> 達成できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学園、児相、市教委等と連携し、情報を共有して支援を行うことができた。
		<p>地域資源（人・もの・こと）活用の推進</p> <p>【外部との連携】</p> <p>【人間関係・経験の拡大】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 榛北地区5校の特別支援学級との交流実施 各学部1回 吉田特別支援学校の授業に参加 中学部2回 	<ul style="list-style-type: none"> 5校交流、本校の授業への参加とも実施できなかった。 	D
	<p>個人情報の保護に配慮した積極的な情報発信</p> <p>【外部への理解啓発】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ掲載による教育活動の紹介10回以上 ホームページによる作品紹介と校外作品展への出品5回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 達成できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護に配慮しながら情報発信ができた。今後も定期的な教育活動の紹介を継続していきたい。